

平成19〔2007〕年

広島県観光客数の動向

平成20年6月

広島県

# 目 次

## I 調査の概要

## II 調査結果の概要

1 観光客の概況 .....	1
(1) 総観光客数 .....	1
(2) 地区別観光客の状況 .....	2
(3) 発地別観光客の状況 .....	4
(4) 目的別観光客の状況 .....	7
(5) 旅行形態別観光客の状況 .....	8
(6) 交通機関別観光客の状況 .....	9
(7) 月別・季節別観光客の状況 .....	10
2 外国人観光客の状況 .....	11
3 観光客数及び観光消費額の状況 .....	14
(1) 観光客数の推移 .....	14
(2) 観光消費額の状況 .....	15

## III 観光客統計表

第1表 観光客数の推移 .....	18
第1表の2 観光客数の推移（合併後の市町区域） .....	20
第2表 平成19年発地別観光客数と観光消費額 .....	22
第3表 平成19年目的別総観光客数 .....	24
第4表 平成19年旅行形態別・交通機関別総観光客数 .....	26
第5表 平成19年月別総観光客数 .....	28
第6表 平成19年県内主要・有料観光施設の月別利用状況 .....	30

# Ⅰ 調査の概要

この調査は、本県の観光客数、観光消費額等の実態を把握することを目的として、市町の協力を得て毎年実施しており、観光地ごとに観光客の数、発地、目的、形態、利用交通機関、観光消費額等について調査し、観光振興施策の立案、実施に当たっての基礎資料とする。

なお、平成18年調査（調査期間：H18.1.1～H18.12.31）から、本県の観光客統計の代表数値を「入込観光客数」から「総観光客数」に変更している。

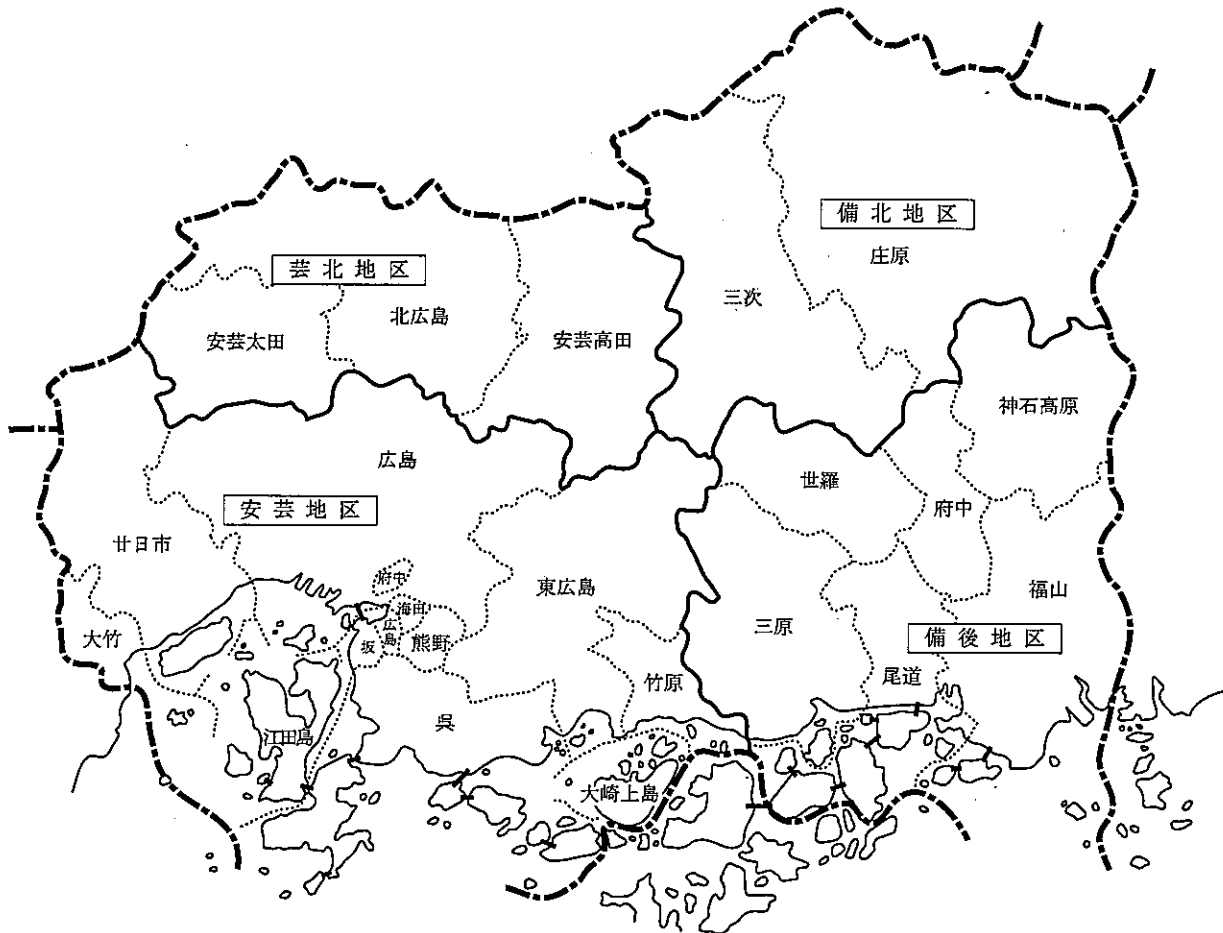
入込観光客数：各市町を当該市町の区域外から訪れた観光客数を集計したもの。

総観光客数：入込観光客数に地元観光客数（市町の区域内での観光客数）を加えたもの。

- 1 この調査は、各市町が平成19年1月から12月までの1年間（暦年）の当該市町の観光客数を推計し、県で取りまとめたものである。
- 2 各市町の観光客数は、延べ人数である。
- 3 掲載した図・表の数値の合計や比率は、単位未満を四捨五入しているため、観光客統計表の数値と一致しない場合がある。
- 4 観光客数の状況を地区別にみるため、次の4地区に区分して整理している。

（観光振興地域区分図）

平成19年12月31日現在（14市9町）



## II 調査結果の概要

### 1 観光客の概況

#### (1) 総観光客数

##### ① 平成19年の総観光客数

単位：万人，%

区分	H19	H18	対前年増減	対前年比	H14	対H14年比
総観光客数	5,761	5,799	▲38	▲0.7	5,061	13.8

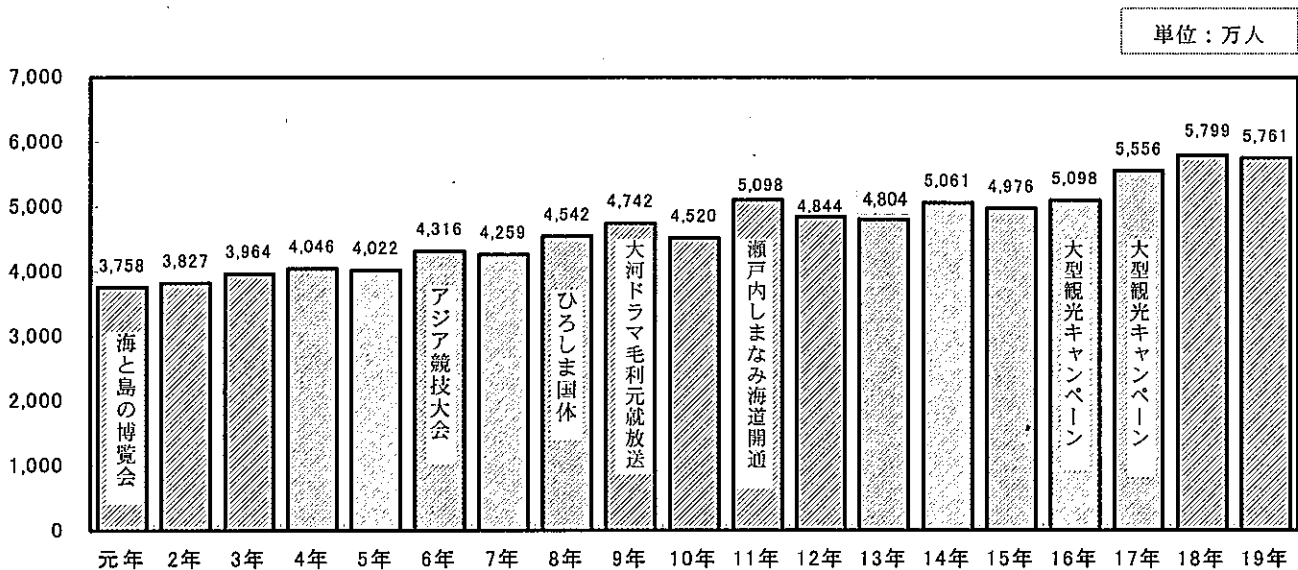
平成19年の総観光客数は、5,761万人で、平成18年と比べて38万人（0.7%）減少した。

主な要因としては、平成17年から18年にかけて実施された映画「男たちの大和/YAMATO」ロケセットの一般公開の終了等により、尾道市の観光客数が約10.0万人減少したことなどが挙げられる。

##### ② 総観光客数の推移

本県の総観光客数は、平成元年以降ほぼ順調に推移し、「瀬戸内しまなみ海道」が開通した平成11年には、はじめて5,000万人を上回った。また、平成16～18年と、3年連続して過去最高を更新し、平成19年は微減したものの、概ね堅調に推移している。

総観光客数の推移



単位：万人，%

区分	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
総観光客数	3,758	3,827	3,964	4,046	4,022	4,316	4,259	4,542	4,742	4,520	5,098	4,844	4,804	5,061	4,976	5,098	5,556	5,799	5,761
対前年比	113.2	101.8	103.6	102.1	99.4	107.3	98.7	106.7	104.4	95.3	112.8	95.0	99.2	105.4	98.3	102.5	109.0	104.4	99.3
元年基準の指数	100	101.8	105.5	107.7	107.0	114.8	113.3	120.9	126.2	120.3	135.6	128.9	127.8	134.7	132.4	135.7	147.8	154.3	153.3

(2) 地区別観光客の状況

① 市町別総観光客数の状況

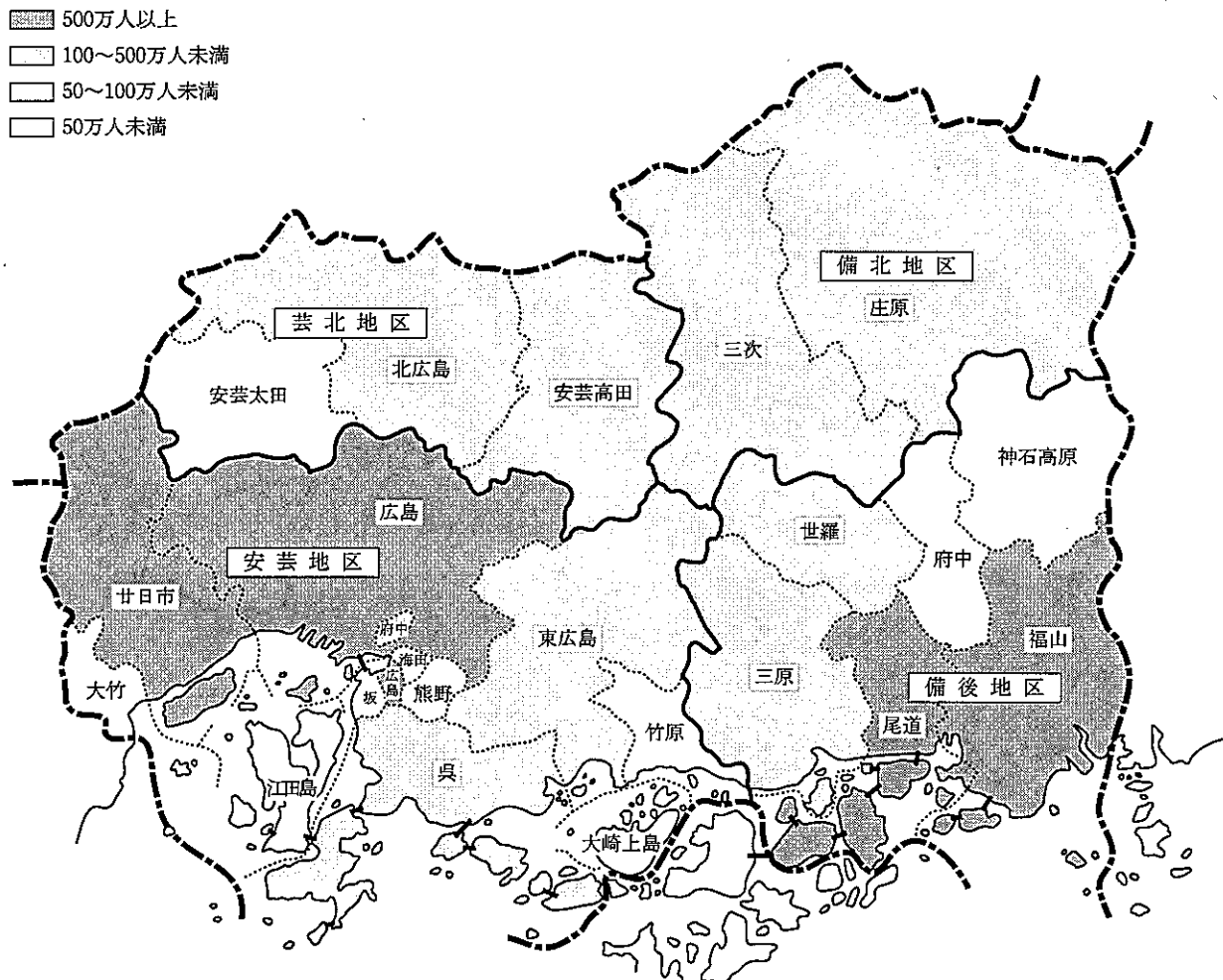
区 分	市町数	前年と比べて	
		増加した市町	減少した市町
500 万人以上	4 市	広島市, 福山市, 廿日市市	尾道市
100～500 万人未満	9 市町	三次市, 東広島市, 三原市, 世羅町	呉市, 庄原市, 北広島町, 安芸高田市, 府中町
50～100 万人未満	6 市町	竹原市	府中市, 神石高原町, 安芸太田町, 坂町, 江田島市
50 万人未満	4 市町	大竹市	海田町, 熊野町, 大崎上島町

総観光客数を市町別に見ると、広島市、福山市、廿日市市、尾道市、呉市などの瀬戸内海沿岸地域を中心に、総観光客数が多いことがわかる。

なお、前年に比べて総観光客数が増加した市町は 9、減少した市町は 14 である。

総観光客数の市町別状況（平成 19 年）

（平成 19 年 12 月 31 日現在）



② 市町別総観光客数の順位

市町別の総観光客数の上位10市町は、次のとおりである。

単位：千人，%

順位	市町名	H19	H18	対前年増減	対前年比	前年順位	H14	対H14年比
1位	広島市	11,710	11,327	383	3.4	1位	10,616	10.3
2位	福山市	6,286	6,234	52	0.8	3位	5,903	6.5
3位	廿日市市	5,619	5,383	236	4.4	4位	4,894	14.8
4位	尾道市	5,522	6,551	▲1,029	▲15.7	2位	5,142	7.4
5位	呉市	4,754	4,948	▲194	▲3.9	5位	4,688	1.4
6位	三次市	3,100	2,852	248	8.7	6位	2,223	39.5
7位	庄原市	2,608	2,715	▲107	▲3.9	7位	2,535	2.9
8位	東広島市	2,584	2,345	239	10.2	8位	2,250	14.8
9位	北広島町	2,250	2,252	▲2	▲0.1	9位	2,034	10.6
10位	三原市	2,156	2,050	106	5.2	11位	1,983	8.7

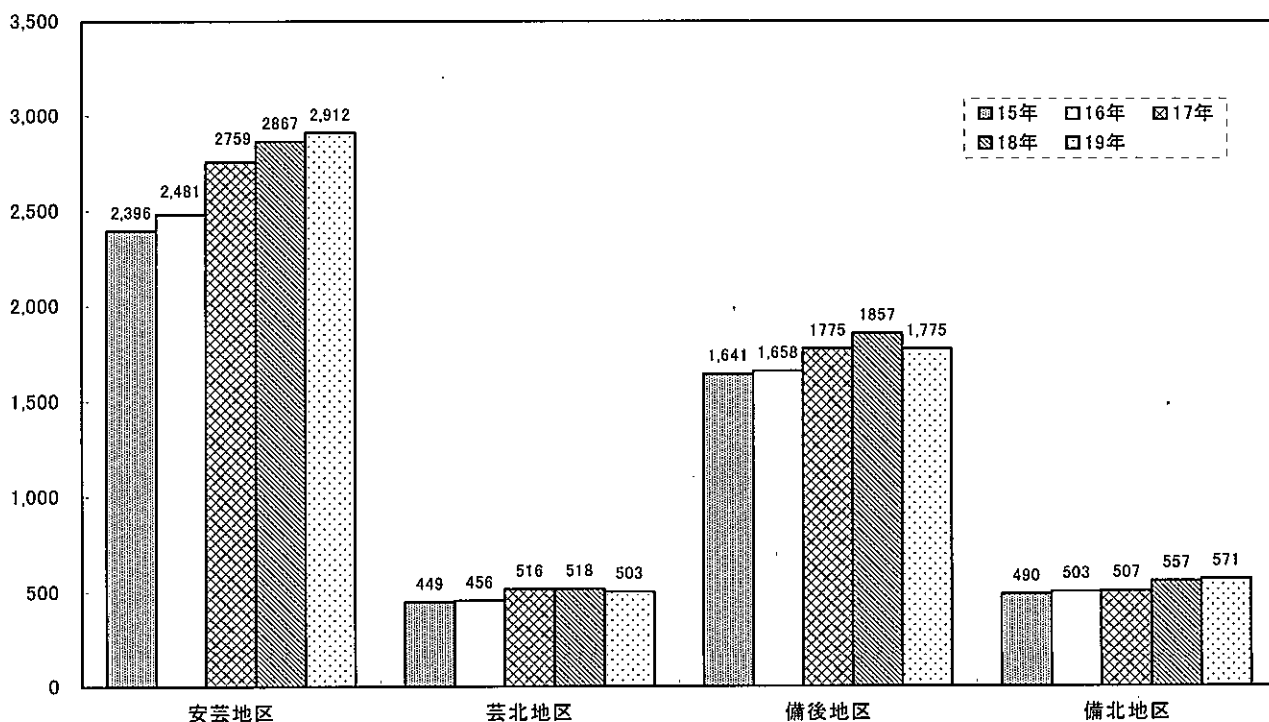
上位10市町の中では、東広島市が239千人増加して2桁（10.2%）増となったが、尾道市は1,029千人（▲15.7%）の大幅減となった。

③ 地区別総観光客数の状況

地区別では、安芸地区が45万人（1.6%）、備北地区は14万人（2.5%）増加したが、芸北地区は15万人（▲2.9%）、備後地区は82万人（▲4.4%）の減となった。

地区別総観光客数の状況

単位：万人



(3) 発地別観光客の状況

① 県内・県外観光客

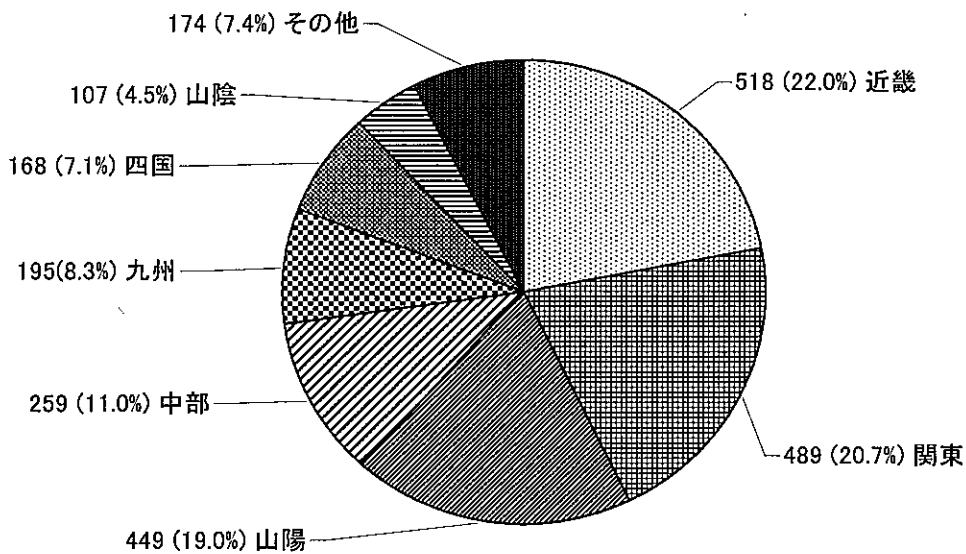
単位：万人、%

区分	H19	H19 構成比	H18	対前年増減	対前年比	H14	H14 構成比	対H14年比
県内	3,402	59.1	3,378	24	0.7	3,013	59.5	12.9
県外	2,359	40.9	2,421	▲62	▲2.6	2,048	40.5	15.2

県外観光客数のうち、発地別では「近畿地方」22.0%、「関東地方」20.7%、「山陽地方」19.0%、「中部地方」11.0%、「九州地方」8.3%、「四国地方」7.1%、「山陰地方」4.5%の順になっている。

発地別県外観光客数の割合

単位：万人

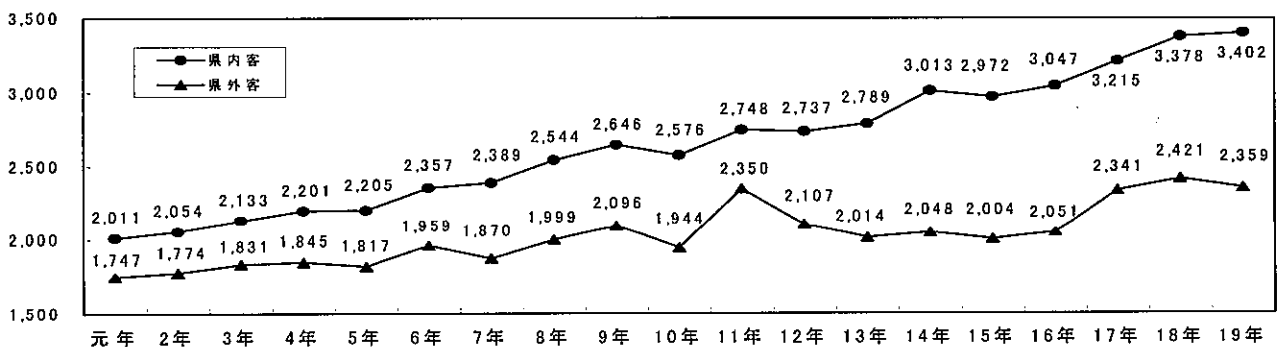


② 総観光客数に占める県内・県外観光客の推移

県外観光客数は平成11年以降、9年連続して2,000万人を超えている。また、県内観光客（地元観光客を含む）数も、4年連続3,000万人を超えている。

総観光客数に占める県内・県外観光客の推移

単位：万人



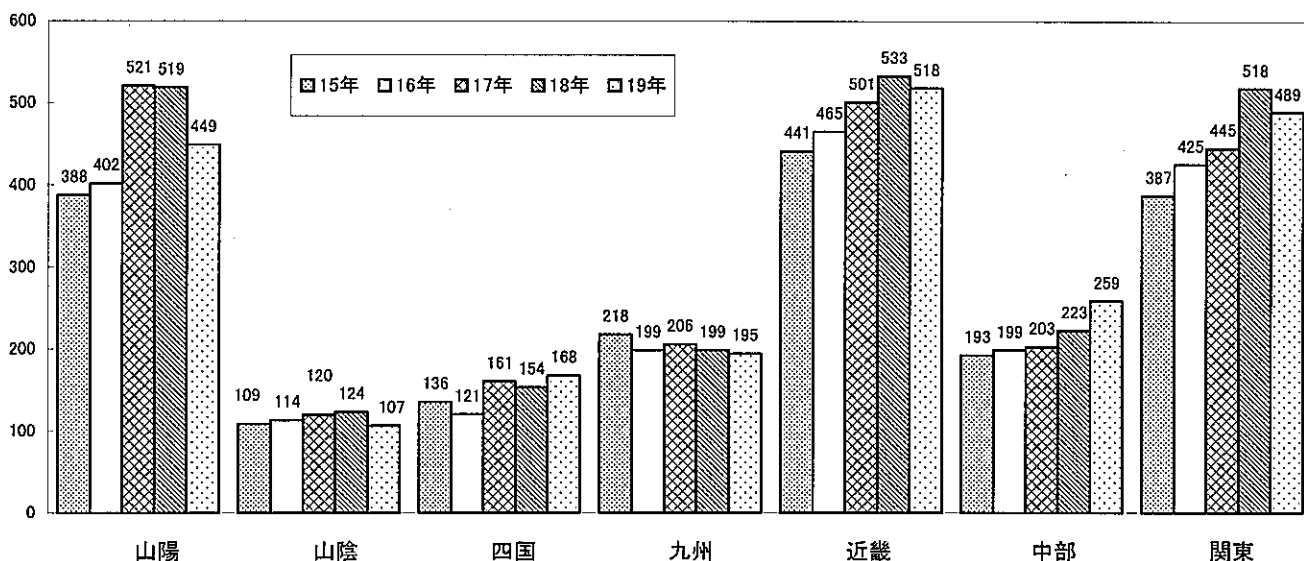
③ 県外観光客の発地別状況

来県する観光客数の多い地方は、「近畿地方」518万人、「関東地方」489万人、「山陽地方」449万人の順である。

前年と比べた場合、「中部地方」からは36万人、「四国地方」からは14万人の増加となっているが、その他の地方は減少している。

主な発地別県外観光客の推移

単位：万人

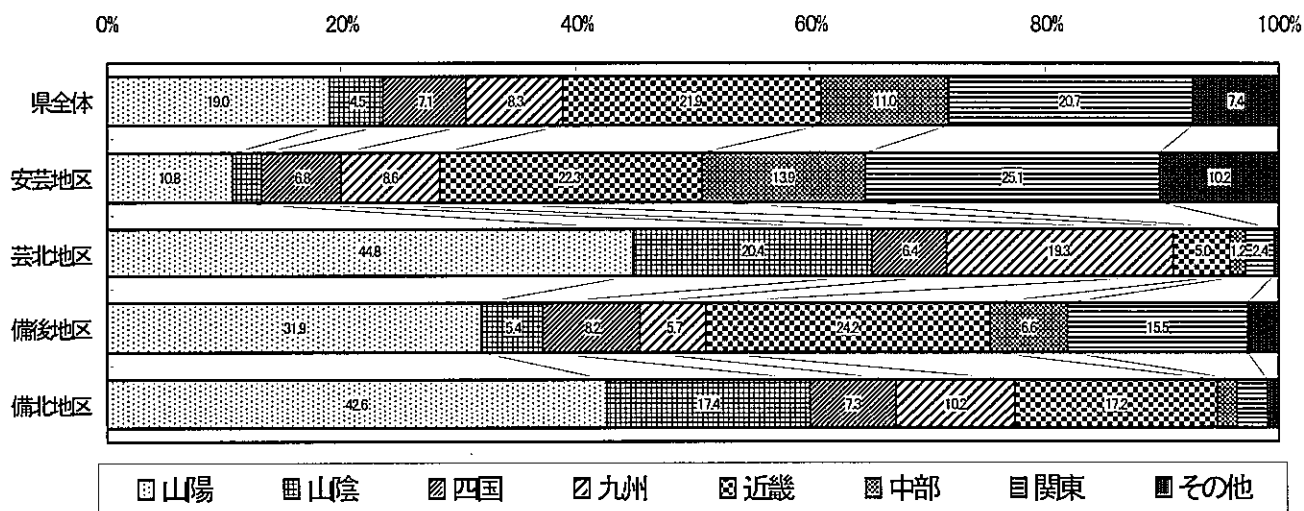


④ 地区別発地別県外観光客の状況

安芸地区は「関東、近畿、中部地方」など大都市圏からの観光客が高い割合を占めている。また、芸北地区は「山陽、山陰、九州地方」から、備後地区は「山陽、近畿、関東地方」から、備北地区は「山陽、山陰、近畿地方」からの観光客が高い割合を占めている。

県内各地区への県外観光客の発地別割合

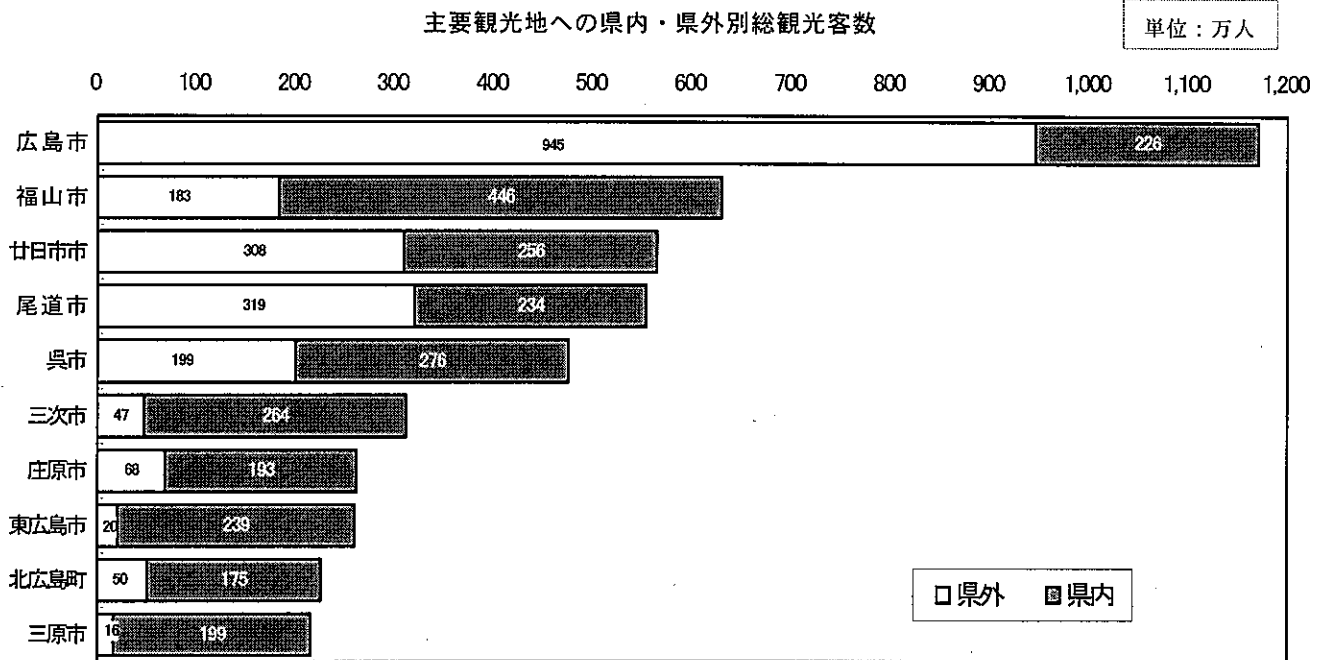
単位：%





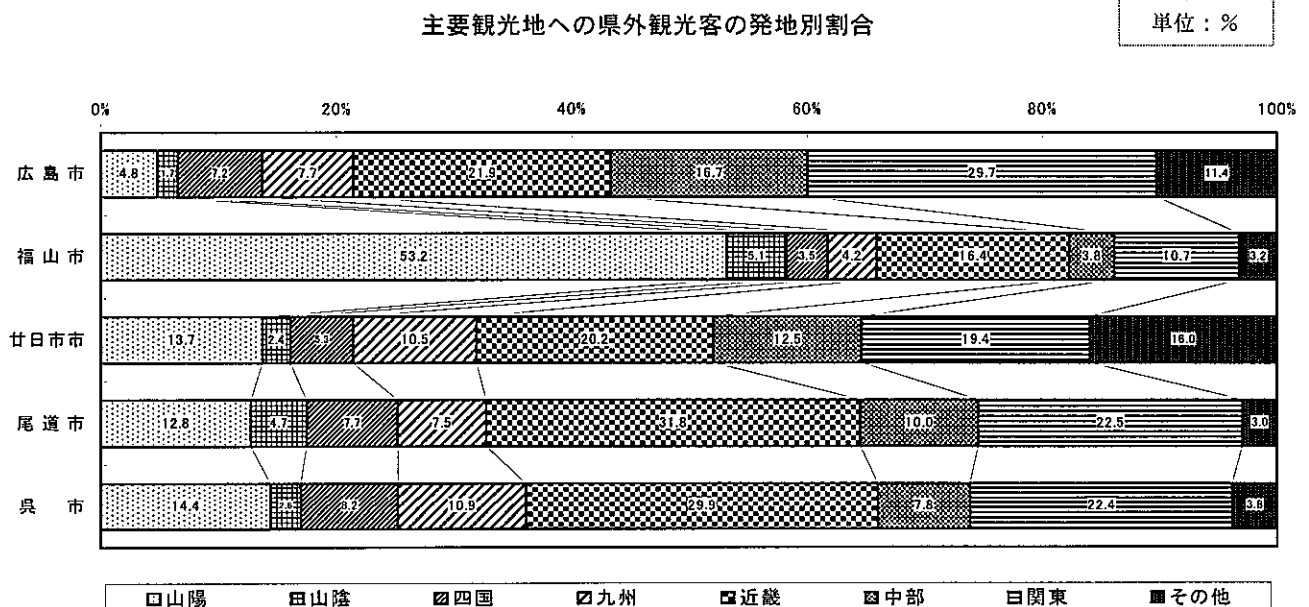
⑤ 県外観光客の主な発地別状況

観光客数の上位10市のうち、県外客の比率が県全体の平均40.9%を上回っているのは、広島市(80.7%)、尾道市(57.7%)、廿日市市(54.6%)、呉市(41.9%)の4市であった。



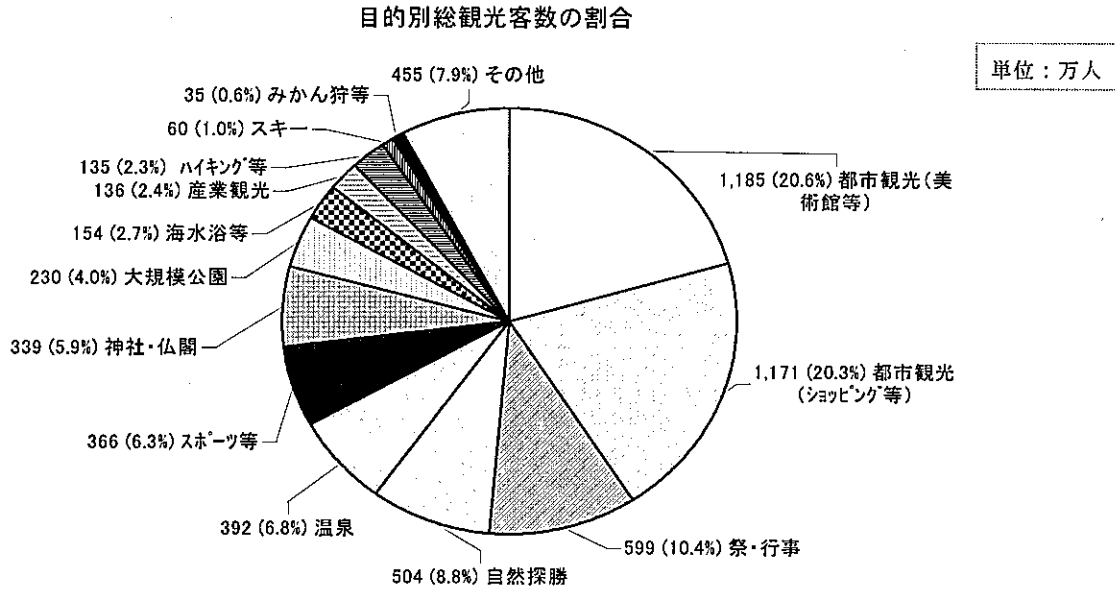
⑥ 主要観光地への県外観光客の発地別状況

県外からの観光客数が多い上位5市を見ると、広島市、廿日市市、尾道市、呉市は「関東、近畿地方」の大都市圏から、福山市については「山陽地方」など近隣県からの観光客が高い割合を占めている。



(4) 目的別観光客の状況

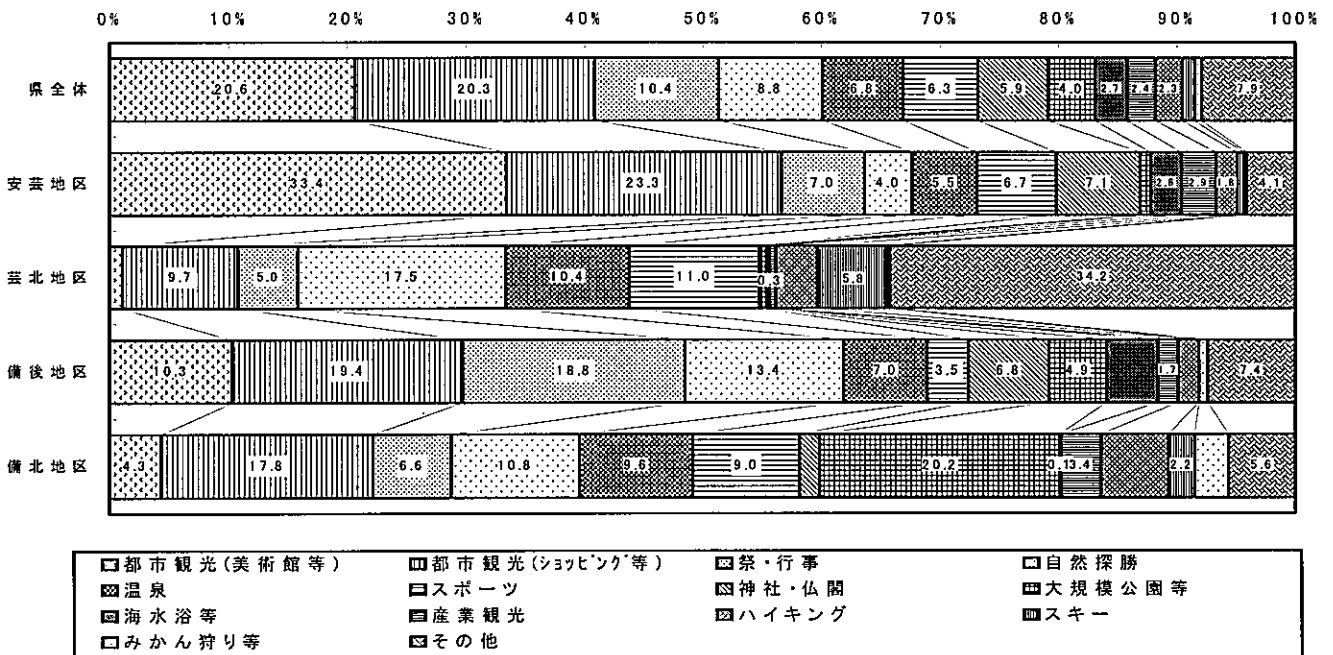
目的別では、「都市観光」が40.9%と最も高く（うち「美術館等」が20.6%、「ショッピング等」が20.3%）、次いで「祭・行事」の10.4%、「自然探勝」の8.8%となっている。



(注) 都市観光：都市を見たり、都市で学ぶことを目的としたもの  
 美術館等：美術館、博物館、動・植物園、水族館等  
 ショッピング等：非日常の買い物や食事、映画鑑賞等  
 産業観光：工場見学、特産品づくりを目的としたもの

次に、地区別に目的別観光客の割合を見ると、安芸地区では「都市観光」が圧倒的に多く、芸北地区では「自然探勝」、備後地区では「都市観光」と「祭・行事」、備北地区では「大規模公園等」と「都市観光」が高い割合となっている。

地区別目的別総観光客数の割合



(5) 旅行形態別観光客の状況

① 日帰り客・宿泊客の状況

観光客数のうち日帰り客数は5,010万人(87.0%), 宿泊客は751万人(13.0%)となっており、宿泊客が750万人を超えたのは平成9年以来10年ぶりである。

② 地区別日帰り客・宿泊客の状況

日帰り客を地区別にみると、安芸地区2,402万人、備後地区1,591万人、備北地区526万人、芸北地区491万人の順になっている。

また、宿泊客は、安芸地区510万人が県全体の7割近く(67.9%)を占めており、次いで備後地区184万人、備北地区45万人、芸北地区12万人の順になっている。

③ 一般客・団体客・修学旅行客の状況

観光客数を一般客、団体客、修学旅行客別にみると、一般客が4,844万人と最も多く全体の84.1%を占めている。なお、団体客は860万人、修学旅行客は56万人となっている。

(注) 団体客：10人以上の団体旅行客、一般客：団体客、修学旅行客以外の旅行客

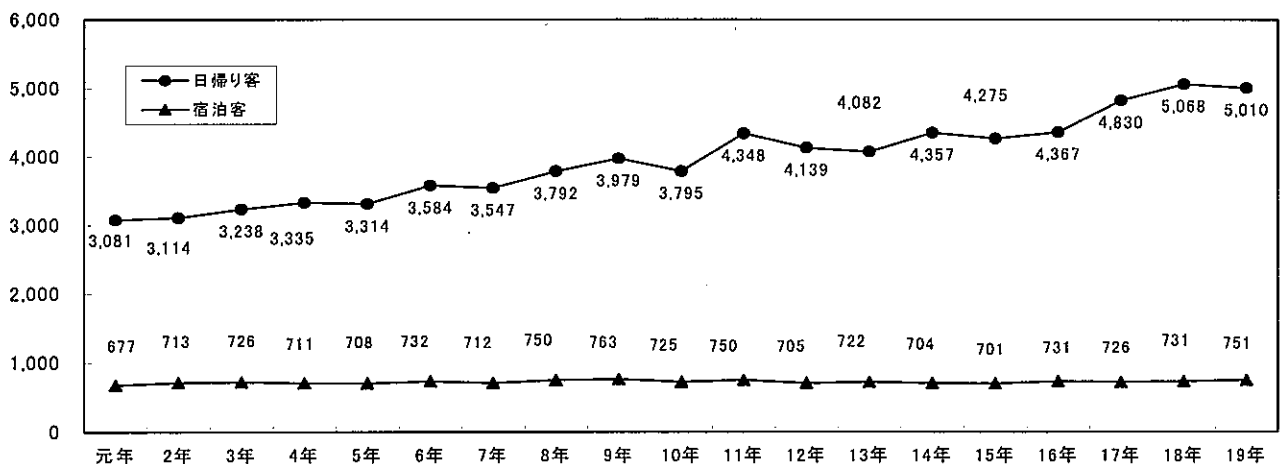
地区別旅行形態別総観光客数

単位：万人，%

区分	日帰り・宿泊客の別				一般・団体・修学旅行の別					
	日帰り		宿泊		一般客		団体客		修学旅行	
	観光客数	構成比	観光客数	構成比	観光客数	構成比	観光客数	構成比	観光客数	構成比
安芸地区	2,402	82.5	510	17.5	2,358	80.9	503	17.3	52.1	1.8
芸北地区	491	97.6	12	2.4	454	90.3	49	9.7	0	0
備後地区	1,591	89.6	184	10.4	1,549	87.3	223	12.6	2.1	0.1
備北地区	526	92.3	45	7.7	483	84.8	85	14.9	2.1	0.3
広島県全体	5,010	87.0	751	13.0	4,844	84.1	860	14.9	56.3	1.0

宿泊客数の推移

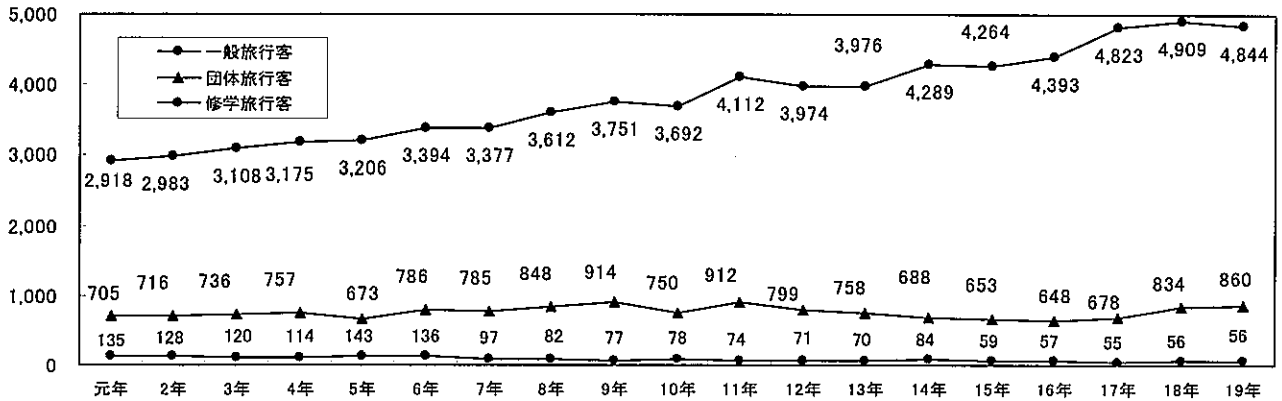
単位：万人



※ 平成18年調査から、本県の観光客数統計の代表数値を従前の「入込観光客数」から「総観光客数」に変更したため、元年まで遡って推計値に置き換えた。

旅行形態別観光客数の推移

単位：万人



※ 平成 18 年調査から、本県の観光客数統計の代表数値を従前の「入込観光客数」から「総観光客数」に変更したため、元年まで遡って推計値に置き換えた。

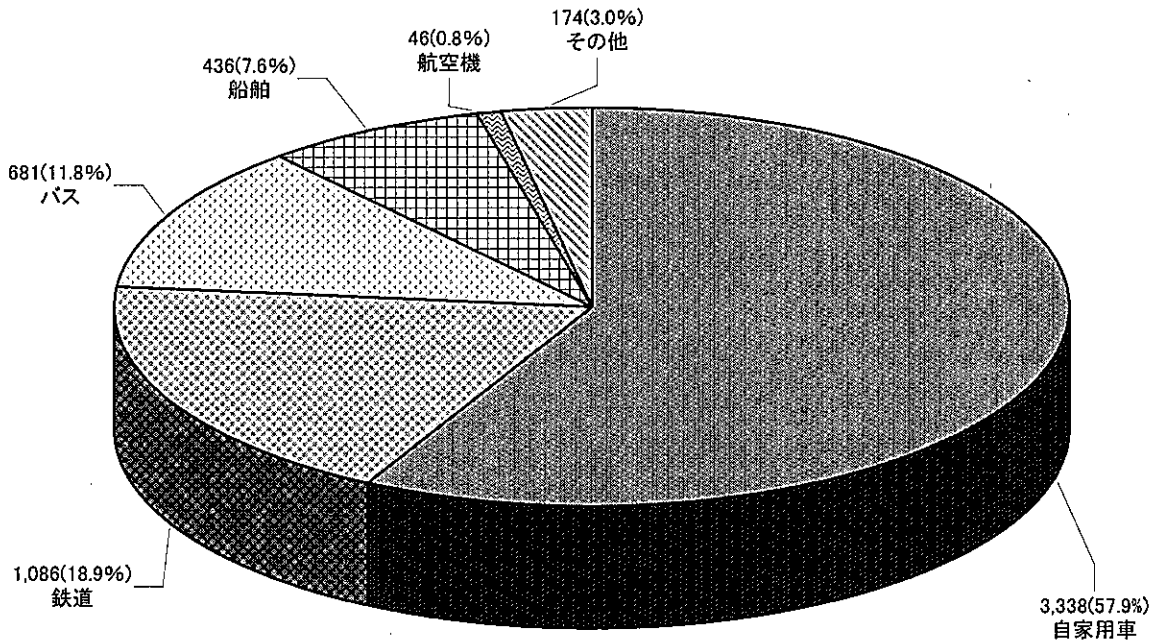
(6) 交通機関別総観光客の状況

観光客の利用交通機関をみると、自家用車を利用したいわゆる「マイカー客」が、3,338万人（前年比0.18%減）と最も多く、マイカー客は観光客全体の57.9%を占めている。

また、鉄道利用者は1,086万人（前年比1.31%増）、バス利用者は681万人（前年比7.35%減）となっている。

交通機関別総観光客の割合

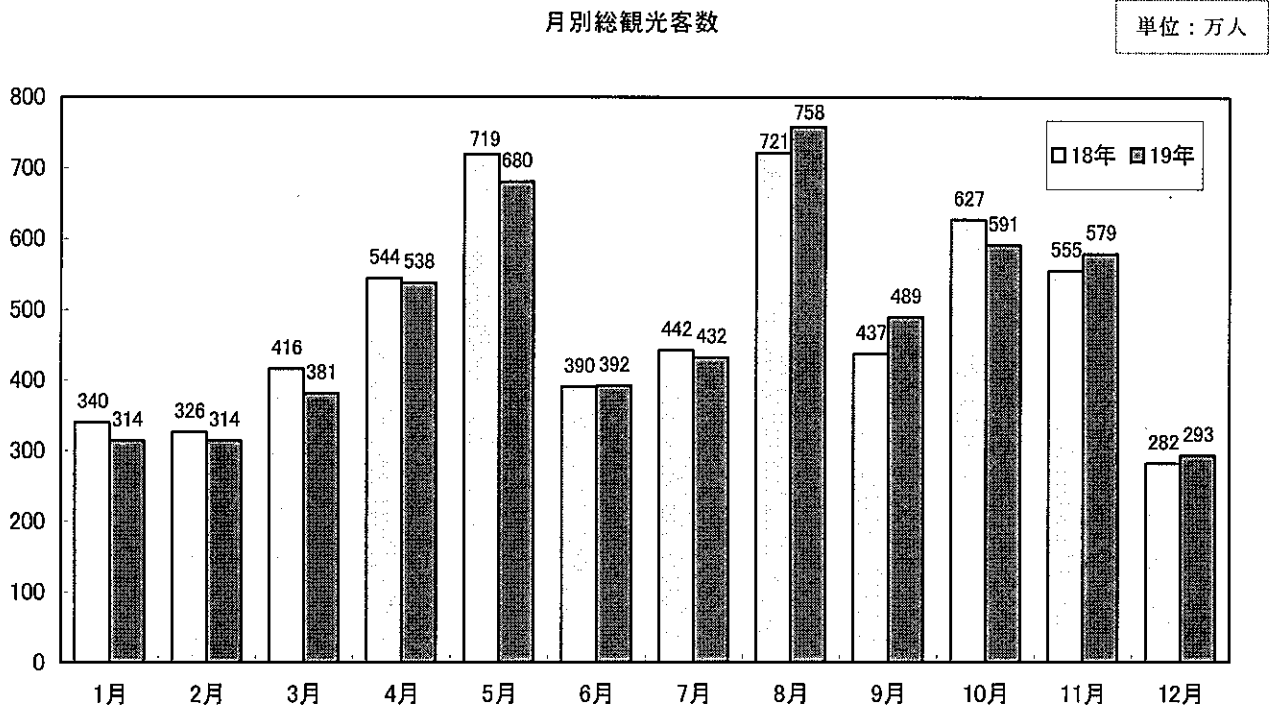
単位：万人



(7) 月別・季節別観光客の状況

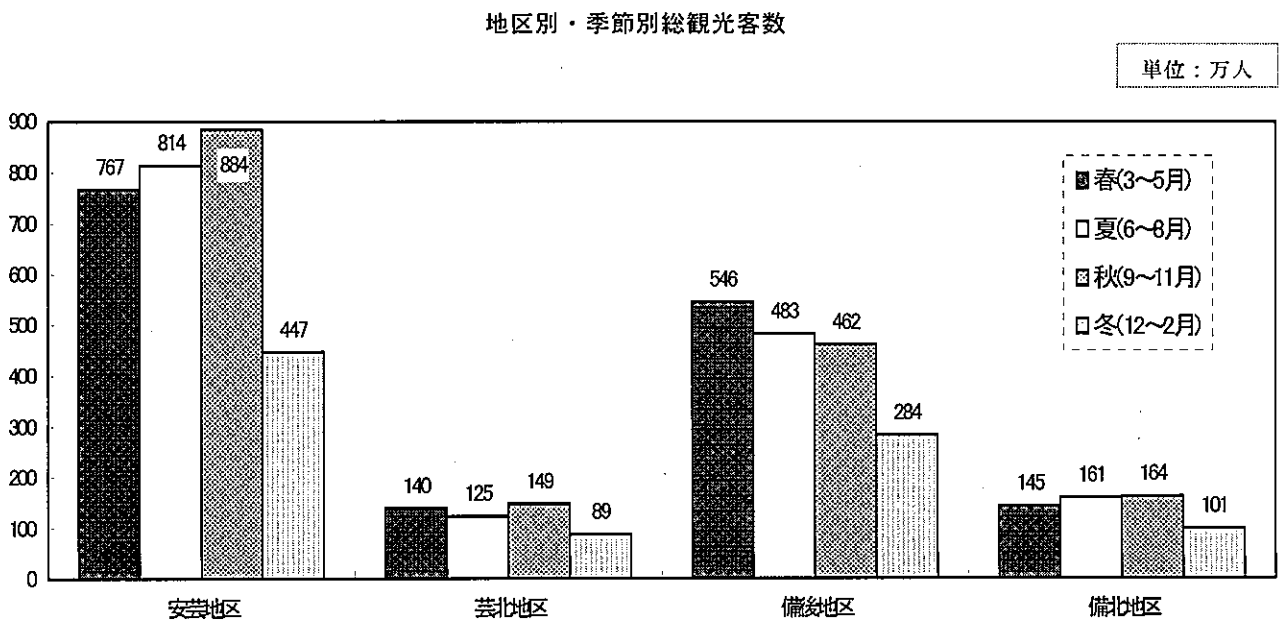
① 月別総観光客数の状況

月別に見ると、最も観光客が多かったのは、8月の758万人、次いで5月の680万人、10月の591万人、11月の579万人となっている。



② 地区別・季節別総観光客数の状況

季節別に見ると、安芸地区、芸北地区、備北地区においては、秋に観光客が最も多くなっている。また、備後地区においては花のシーズンである春に観光客が多くなっている。



## 2 外国人観光客の状況

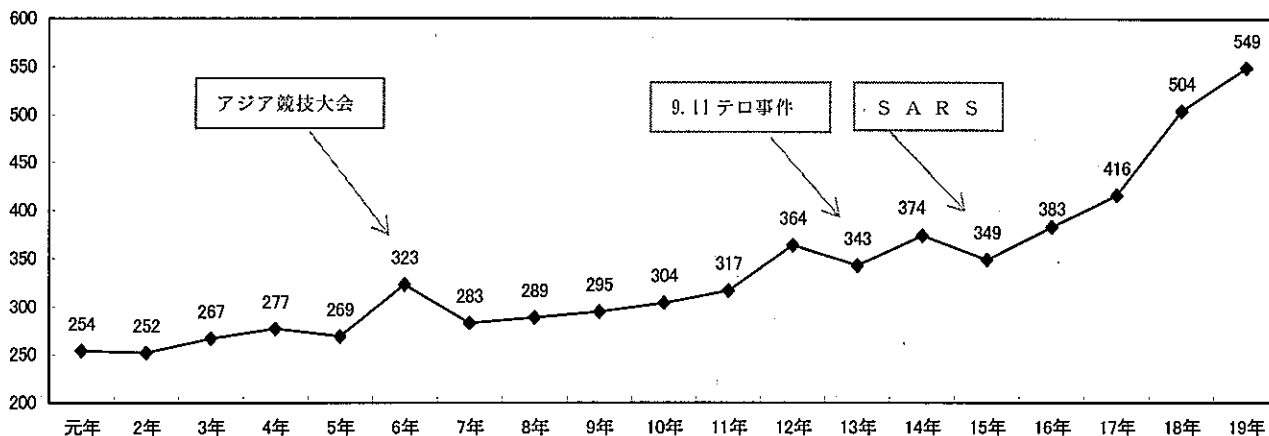
単位：千人，%

区分	H19	H18	対前年増減	対前年比	H14	対H14年比
外国人観光客数	549	504	45	9.0	374	46.8

平成19年に本県を訪れた外国人観光客の国籍・地域別状況を示したのが次ページの表である。本県を訪れた外国人観光客は549千人となっており、前年と比べて45千人（9.0%）増加し、4年連続過去最多となっている。

外国人観光客の推移

単位：千人

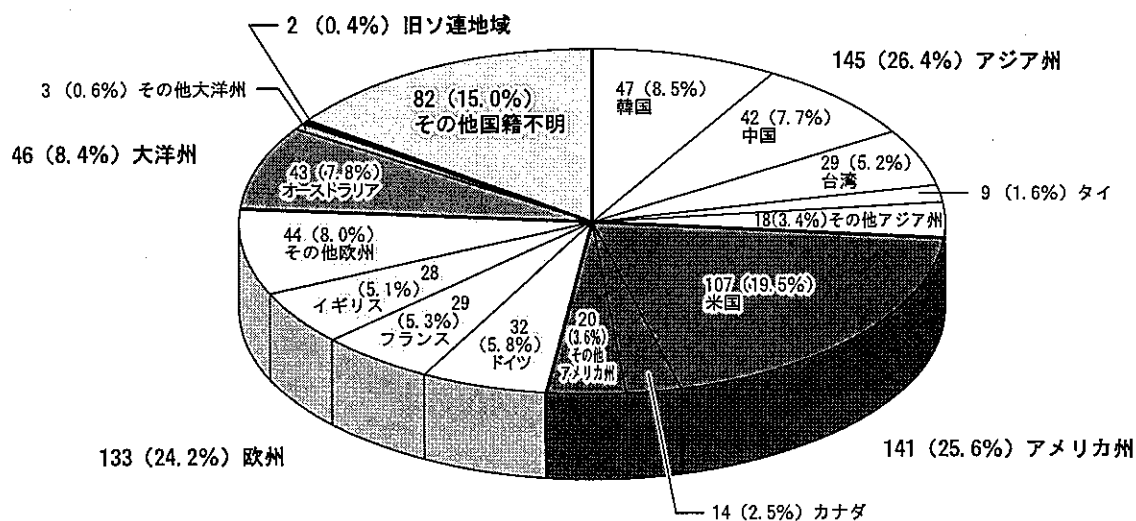


次に、地域別に外国人観光客の割合を見ると、アジア州からの観光客が全体の26.4%を占めて最も高く、次いでアメリカ州が25.6%、欧州が24.2%となっている。

なお、国籍別では米国が第1位（19.5%）、第2位が韓国（8.5%）、第3位がオーストラリア（7.8%）の順となっている。

国籍・地域別外国人観光客の割合

単位：千人



外国人観光客

区分	米 国	カナダ	アメリカ州 計	オーストラリア	大 洋 州 計	英 国	ドイツ	フランス	欧 州 計	旧ソ連邦 地 域
安芸地区	97,982	13,624	130,044	41,467	44,944	25,851	30,005	28,718	126,553	1,930
	20.5	2.8	27.2	8.7	9.4	5.4	6.3	6.0	26.4	0.4
広島市	66,800	9,600	80,900	27,700	30,800	15,800	18,400	15,900	76,200	1,600
	21.4	3.1	25.9	8.9	9.9	5.1	5.9	5.1	24.4	0.5
廿日市市	20,483	3,644	37,806	13,659	13,798	9,705	11,207	12,677	48,845	310
	16.5	2.9	30.5	11.0	11.1	7.8	9.0	10.2	39.3	0.2
芸北地区	65	2	67	0	0	2	2	0	4	0
	5.8	0.2	6.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.4	0.0
備後地区	8,012	187	9,573	1,010	1,327	2,318	1,665	561	5,798	379
	12.7	0.3	15.1	1.6	2.1	3.7	2.6	0.9	9.2	0.6
備北地区	781	106	913	86	104	87	18	26	154	13
	13.9	1.9	16.2	1.5	1.9	1.5	0.3	0.5	2.7	0.2
平成19年計 (A)	106,840	13,919	140,597	42,563	46,375	28,258	31,690	29,305	132,509	2,322
	19.5	2.5	25.6	7.8	8.4	5.1	5.8	5.3	24.1	0.4
平成18年計 (B)	113,059	9,987	131,164	29,263	33,979	25,076	22,354	18,345	109,780	2,900
	22.4	2.0	26.0	5.8	6.7	5.0	4.4	3.6	21.8	0.6
平成18年比 (A/B)	94.5	139.4	107.2	145.4	136.5	112.7	141.8	159.7	120.7	80.1

(注) 各州計には、当該州のその他の国・地域からの観光客数を含む。

各地区の上段は実数、下段は構成比である。

合計、平成18年欄の ( ) 内は県全体に占める割合 (%)

の 国 籍 ・ 地 域 別 状 況

(単位：人、%)

中 国	台 湾	韓 国	タイ	フィリピン	シンガポール	マレーシア	インドネシア	アジア州 計	その他 不 明	合 計	平成18年	
												うち香港
34,642	2,781	25,688	37,245	8,384	2,125	2,651	1,346	1,448	121,170	54,243	478,884 (87.2)	435,711 (86.5)
7.2	0.6	5.4	7.8	1.8	0.4	0.6	0.3	0.3	25.3	11.3	100.0	
18,800	1,900	19,200	28,400	7,500	600	1,500	900	900	82,300	40,200	312,000 (56.8)	293,824 (58.3)
6.0	0.6	6.2	9.1	2.4	0.2	0.5	0.3	0.3	26.4	12.9	100.0	
7,069	865	6,193	2,025	788	284	1,099	393	448	19,778	3,612	124,149 (22.6)	103,859 (20.6)
5.7	0.7	5.0	1.6	0.6	0.2	0.9	0.3	0.4	15.9	2.9	100.0	
244	10	0	49	29	117	81	0	512	1,032	10	1,113 (0.2)	1,647 (0.3)
21.9	0.9	0.0	4.4	2.6	10.5	7.3	0.0	46.0	92.7	0.9	100.0	
6,198	94	2,661	8,681	130	764	147	205	91	19,166	27,047	63,290 (11.5)	58,786 (11.7)
9.8	0.1	4.2	13.7	0.2	1.2	0.2	0.3	0.1	30.3	42.7	100.0	
1,307	288	468	752	46	587	66	63	196	3,554	882	5,620 (1.0)	7,551 (1.5)
23.3	5.1	8.3	13.4	0.8	10.4	1.2	1.1	3.5	63.2	15.7	100.0	
42,391	3,173	28,817	46,727	8,589	3,593	2,945	1,614	2,247	144,922	82,182	548,907 (100.0)	503,695 (100.0)
7.7	0.6	5.2	8.5	1.6	0.7	0.5	0.3	0.4	26.4	15.0	100.0	
42,315	3,884	25,786	43,466	8,804	7,451	3,462	2,252	1,753	150,986	74,886	503,695	
8.4	0.8	5.1	8.6	1.7	1.5	0.7	0.4	0.3	30.0	14.9	100.0	
100.2	81.7	111.8	107.5	97.6	48.2	85.1	71.7	128.2	96.0	109.7	109.0	



### 3 観光客数及び観光消費額の状況

#### (1) 観光客数の推移

平成19年の総観光客数は5,761万人となり、そのうち入込観光客（地元観光客を除く）は、前年に比べて39万人（0.89%）減少し、4,327万人となっている。

また、地元（市町内）観光客は1,434万人で、前年に比べて1万人（0.07%）増加し、総観光客数に占める割合は24.9%となっている。

観光客数の推移

単位：万人、%

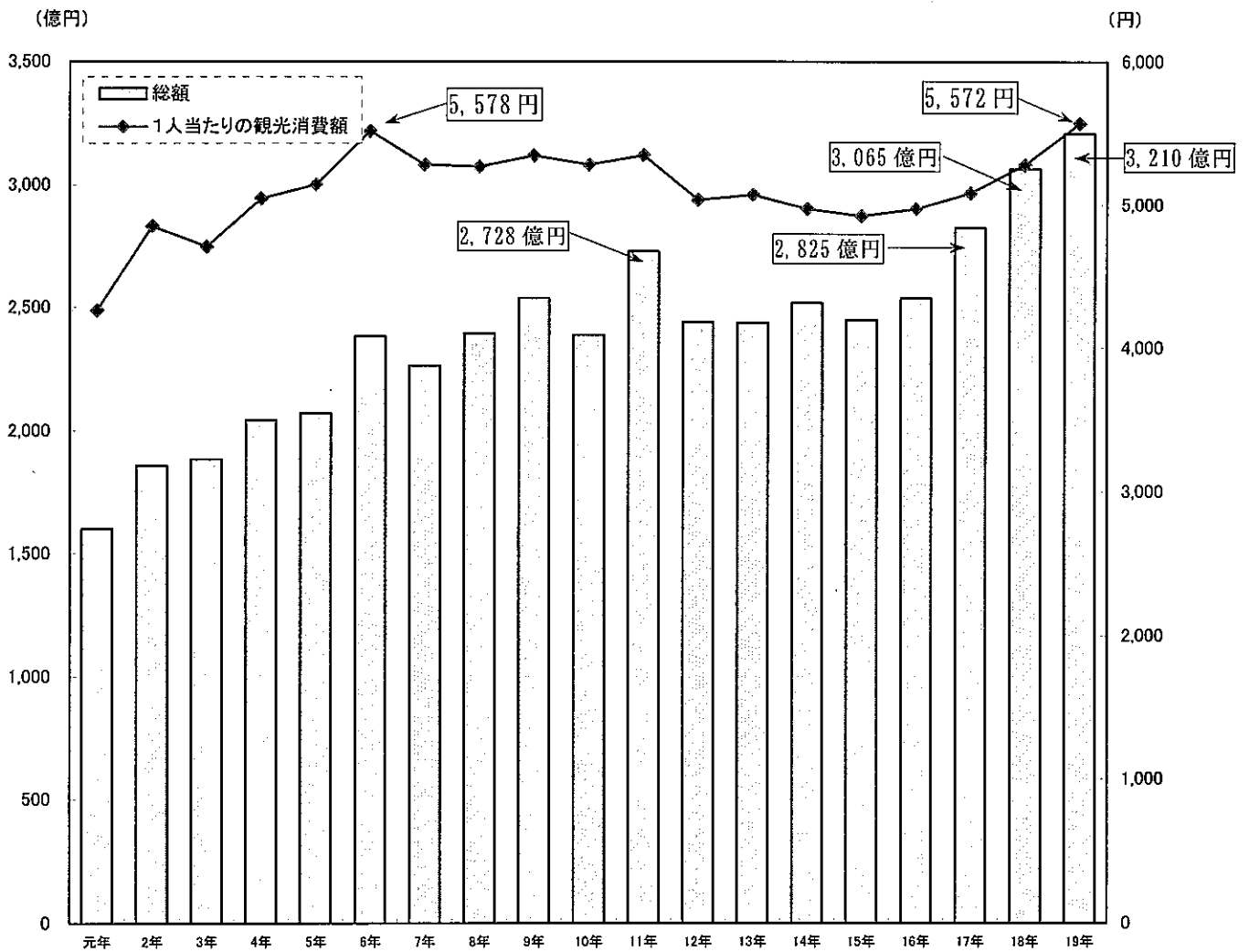
区分	年次	県内観光客			県外観光客 (C)	入込観光客 (B) + (C)	総観光客数 (A) + (B) + (C)
		地元観光客 (A)	市町外観光客 (B)	計 (A) + (B)			
実 数	元年	656	1,355	2,011	1,747	3,102	3,758
	2年	667	1,387	2,054	1,774	3,161	3,828
	3年	696	1,437	2,133	1,831	3,268	3,964
	4年	711	1,490	2,201	1,845	3,335	4,046
	5年	749	1,456	2,205	1,817	3,273	4,022
	6年	817	1,540	2,357	1,959	3,499	4,316
	7年	836	1,553	2,389	1,870	3,423	4,259
	8年	893	1,651	2,544	1,999	3,650	4,543
	9年	900	1,746	2,646	2,096	3,842	4,742
	10年	898	1,678	2,576	1,944	3,622	4,520
	11年	960	1,788	2,748	2,350	4,138	5,098
	12年	984	1,753	2,737	2,107	3,860	4,844
	13年	1,042	1,747	2,789	2,014	3,761	4,803
	14年	1,126	1,887	3,013	2,048	3,935	5,061
	15年	1,081	1,891	2,972	2,004	3,895	4,976
	16年	1,162	1,885	3,047	2,051	3,936	5,098
	17年	1,212	2,003	3,215	2,341	4,344	5,556
	18年	1,433	1,945	3,378	2,421	4,366	5,799
	19年	1,434	1,968	3,402	2,359	4,327	5,761
構 成 比	元年	17.5 (32.6)	36.1 (67.4)	53.5 (100)	46.5	82.5	100
	2年	17.4 (32.5)	36.2 (67.5)	53.7 (100)	46.3	82.6	100
	3年	17.6 (32.6)	36.3 (67.4)	53.8 (100)	46.2	82.4	100
	4年	17.6 (32.3)	36.8 (67.7)	54.4 (100)	45.6	82.4	100
	5年	18.6 (34.0)	36.2 (66.0)	54.8 (100)	45.2	81.4	100
	6年	18.9 (34.7)	35.7 (65.3)	54.6 (100)	45.4	81.1	100
	7年	19.6 (35.0)	36.5 (65.0)	56.1 (100)	43.9	80.4	100
	8年	19.7 (35.1)	36.3 (64.9)	56.0 (100)	44.0	80.3	100
	9年	19.0 (34.0)	36.8 (66.0)	55.8 (100)	44.2	81.0	100
	10年	19.9 (34.9)	37.1 (65.1)	57.0 (100)	43.0	80.1	100
	11年	18.8 (34.9)	35.1 (65.1)	53.9 (100)	46.1	81.2	100
	12年	20.3 (36.0)	36.2 (64.0)	56.5 (100)	43.5	79.7	100
	13年	21.7 (37.4)	36.4 (62.6)	58.1 (100)	41.9	78.3	100
	14年	22.2 (37.4)	37.3 (62.6)	59.5 (100)	40.5	77.8	100
	15年	21.7 (36.4)	38.0 (63.6)	59.7 (100)	40.3	78.3	100
	16年	22.8 (38.1)	37.0 (61.9)	59.8 (100)	40.2	77.2	100
	17年	21.8 (37.7)	36.1 (62.3)	57.9 (100)	42.1	78.2	100
	18年	24.7 (42.4)	33.5 (57.6)	58.3 (100)	41.7	75.3	100
	19年	24.9 (42.1)	34.2 (57.9)	59.1 (100)	40.9	75.1	100

## (2) 観光消費額の状況

平成19年に、観光客が本県において交通費、宿泊料、みやげ品代、飲食代、入場料などに消費した観光消費額の総額は3,210億円で、前年に比べて145億円(4.7%)の増加となり、3年連続過去最高となった。

また、観光消費額の総額を総観光客数で除した1人当たりの観光消費額は、前年より287円(5.4%)増加し、5,572円となっている。

観光消費額の推移



(注) 1人当たり観光消費額＝総観光消費額／総観光客数

なお、観光消費額については、各市町が推計したものを県でとりまとめたものである。